

講演タイトル

精密質量分析による 環境ノンターゲットモニタリング

質量分解能が10,000を超える質量分析計の普及により、精密質量分析が身近になってきた。特に飛行時間型質量分析計は応答速度も速く、比較的広範囲の精密質量情報を提供してくれる。ガスクロマトグラフ-高分解能飛行時間型質量分析法(GC-HRToFMS)の環境分野への応用法として、異常(定常状態との差異)を迅速に検出し、未知物質を含む化学物質を網羅的にモニタリングする手法開発への演者らの取り組みを紹介する。

演者 国立研究開発法人 国立環境研究所
環境計測研究センター 応用計測化学研究室
室長 橋本 俊次

日時：8月9日(水)16時～

場所：愛媛大学理学部会議室

愛媛大学理学部構内総合研究棟 | 6階